

2022年度 第7回理事会議事録

2022年10月13日(木)19時30分、WEB上にて理事会を開催した。

定刻に、理事 伊藤伸が議長席につき、本会は有効に成立した旨を告げて議案の審議に入った。

理事総数	27名
本日の出席理事数	22名
監事総数	2名
本日の出席監事数	2名

■出席役員：会長)宇田英幸、副会長)伊藤伸、茂木有希子 理事)赤間公一、石川麻子、犬塚功一、大橋幸子、岡部拓大、押野修司、北村ミチル、小池祐士、神山真美、阪井之哉、鈴木香織、鈴木真弓、高橋啓吾、高橋暢介、野村健太、原裕如、丸達也、安永雅美、渡部慶和
監事)川俣実、土屋美樹

■委任役員：鈴木康子、田坂翔太、平田樹伸、逸見康子、吉田朋子

■欠席役員：

■他出席：法人管理部)駒崎かな 学術部)松尾彰久

■他欠席：北部ブロック長)分須 陽

敬称略

■議 題：

I. 審議・検討事項【発案者：敬称略】

第1号議案 第6回理事会議事録について【法人管理部：安永】(資料1)

内容を確認し満場一致で可決された。

第2号議案 臨床実習指導者講習会の日本作業療法士協会非会員の受講料の件【養成教育：岡部】(資料2)

実習指導者講習会の非協会の参加費6000円となっているが、他士会と比較すると格安になっている。

現在の講師料や資料代で1研修会につき20万円県士会負担の持ち出しとなっており、今回参加費を非協会員9000円とすることで支出も10万円程度の持ち出しに減らすことができる。

2023年度から非協会員の参加費9000円とすることで満場一致で可決された。

第3号議案 Adobe Illustrator、Photoshop等の導入に関する審議依頼【広報：伊藤】(資料3)

広報誌「彩り」やそのほかポスターを作成し、外注する際にAdobe Illustrator、Photoshopの使用が必要。今後さまざまな広報用パンフレットを作成していく計画である。

また現在、広報部員の個人所有のIllustratorを使用して主に1人で担当している状態であり、ほかの部員に業務分担していくためにもライセンス契約をしたい。プランについては、個人向けだと名義変更が困難であるが、法人向けであれば値段は高額だがライセンス管理が行いやすいことと業務分担が図りやすいことから、法人契約のコンプライートプラン111368円/年を導入したいと考えている。

試しに、使用できる人材育成も行うこと、使用できなくなった際は解約することとし、法人プランを契約することで満場一致で可決された。

第4号議案 広報誌「彩り」2022秋号発行について【広報：伊藤】(資料4)

新人・ベテラン作業療法士にインタビューを行い広報誌「彩り」を作成した。

内容を確認いただき、満場一致で可決された。

第5号議案 第1回意見交換会（仮）開催について【高次脳：渡部】

2月7日19:00～20:00「事例と通した医療と福祉の意見交換会」を開催したいと考えている。企画内容としては高次脳機能障害の説明と事例報告を障害福祉サービス側と医療介護側のオンライン対談形式で開催を考えている。

参加対象は埼玉県作業療法士会・埼玉県理学療法士会・埼玉県言語聴覚士会の会員とアンケート調査回答があった事業所（南部ブロックのみ）。参加費は3士会会員・アンケート回答事業所・当事者は無料とし、非会員は検討する。

企画内容・開催に関しては満場一致で可決された。

第6号議案 研修会開催での非会員参加費について【北部ブロック：丸】（資料5）

研修会を通じて横のつながりを持てるよう、非会員を含め北部ブロック内での研修参加を促したいと検討している。非会員の参加費無料とすることが満場一致で可決された。検討の中で、学生への研修会の広報について、HPでの広報方法を今後検討したいとの意見があがった。

第7号議案 論文電子化について【学術：松尾】（資料6）

埼玉作業療法研究の電子化を検討している。業者選定し、J-stageに論文登録するための見積もりでは学会抄録を簡略した4万円のプランと全検索できる約10万円程度のプランがある。

電子化に伴いISBNの変更も必要であり、名称変更も同時に行いたい。

今回全検索できるプランで、雑誌名の名称変更することで満場一致で可決された。

第8号議案 研修会参加費に関する規程【事務局：大橋】

前回理事会から継続審議になっていた研修会参加費に関する規程について、内容を確認し、満場一致で可決された。

10月13日より施行となる。

第9号議案 「安心できる介護保険制度を求める署名」への協力をお願い【事務局：大橋】

認知症の人と家族の会および埼玉県支部から協力要請があった。署名活動について協力の可否と、協力する場合の方法について検討。電子定期便で、会員に制度改定の説明を加えた情報提供を行い、署名活動のアナウンスを行うこと、署名活動のアナウンスの文言については茂木副会長に依頼することが満場一致で可決された。

II. 報告・確認事項

1. 各部局活動報告

1) 事務局長：大橋事務局長より以下の報告があった。

9月22日三役会議で埼玉県ケアラー月間協力依頼アンケート回答を検討し、会員施設へのポスター・チラシ発送、HP掲載、デジタルサイネージオンエアの受諾を回答。現在、発送業務、HP掲載等対応中。

10月17日埼玉県リハ三団体連絡会議があり、担当役員出席予定。

2) 法人管理部：安永部長より報告事項なし。

3) 総務部：丸理事より以下の報告があった。

臨時便を発送する予定。発送物がある場合は、14日までに締め切りとする。

- 4) 財務部：北村財務部長より、以下の報告があった。
中間決算（当初予算に対する割合）：収入 79%、全支出 36%、学術 56%、教育 40%、部 25%、ブロック 39%、委員会 11%、学会 34%。詳細はBAND にあげるので、各部局で確認し事業計画に沿った事業遂行をお願いしたい。
- 5) 学術部・編集委員会：押野理事より以下の報告があった。
第3回研修会検討中。時期は、2023年2月または3月と考えている。
テーマは「脊髄損傷者に対するADLの介入」
講師は玉垣 勉先生（神奈川県立保健福祉大学）を検討中である。
- 6) 学会支援委員会：小池理事より以下の報告があった。
第31回埼玉県作業療法学会 ポイント申請終了。
第32回埼玉県作業療法学会 HP 構築中。演題募集要項作成中（2022年11月より募集開始予定）。
- 7) 教育部：鈴木香織理事より以下の報告があった。
研修会開催したら参加者名簿を送付願いたい。
送付先：shougaiyouiku.saitama.ot@gmail.com
- 8) 生涯教育委員会：神山理事より以下の報告があった。
現職者共通研修会の申し込みを開始している。
10月26日 現職者共通研修「作業療法の可能性」
11月14日 現職者共通研修「日本と世界の作業療法の動向」
- 9) 養成教育委員会：岡部理事より以下の報告があった。
10月25日臨床実習指導者講習会接続テスト実施予定。
- 10) 職能開発事業部：鈴木真弓理事より報告事項なし。
- 11) 広報部：伊藤理事より以下の報告があった。
彩り秋号刊行した。
養成校学生向けのOT協会県士会入会促進のためのパンフレットの準備作業中（11月理事会で原案審議を目標とする）。
広報部会、SNSチーム作業部会、彩り編集部会、電子定期便部会、学生向けパンフレット部会開催。
- 12) 地域リハ推進部：平田理事欠席のため報告事項なし。
- 13) 地域包括ケア推進部：野村理事より報告事項なし。
- 14) 認知症地域支援推進部：吉田理事欠席のため報告事項なし。
- 15) 災害対策部：阪井理事より以下の報告があった。
2022年度大規模災害発生を想定したシミュレーション訓練中。10月13日現在25名の返信あり。残り4名の方は25日までに入力をお願いする。
- 16) 制度対策部：石川理事より報告事項なし。
- 17) 各ブロック
 - ・東部：小池理事より以下の報告があった。
今夜はリモートで語らNight！：2022年12月3日（土）19：00～20：30「他のOTはどうしてるの？～OTは十人十色！他領域との交流会～」企画中。
 - ・西部：逸見理事欠席だがBAND上にて以下の報告があった。
西部ブロック担当の研修会は2月17日に開催予定。内容は現在検討中。
 - ・南部：犬塚理事より以下の報告があった。
12月20日語らnight 動画から学ぶ在宅支援 ～現場のOTたちの視点を聞いてみよう～開催予定。

・北部：分須氏より以下の報告があった。

10月3日 北部ブロック会議で研修会準備・2023年度学会準備を行う。

2023年1月20日 北部ブロック研修 語らnight（仮）開催予定。

18) 訪問リハビリテーション振興委員会：高橋暢介理事より以下の報告があった。

第2回会議を10月12日に開催した。次回の会議は11月中旬頃に開催予定。

10月30日第11回埼玉県リハビリ三団体主催訪問リハビリテーション実務者研修会 BASIC コース※10月20日迄募集を延長。入金は10月25日迄。

19) 生活行為向上マネジメント推進委員会：高橋啓吾理事より以下の報告があった。

MTDLP 基礎研修修了が50%強。2月にコラボ研修を開催する。

20) 子ども支援委員会：田坂理事欠席のため報告事項なし。

21) 福祉機器委員会：鈴木康子理事欠席のため報告事項なし。

22) 高次脳機能障害地域支援推進委員会：渡部理事より以下の報告があった。

研修会の準備、意見交換会（仮）の準備をすすめている。

23) 運転再開支援委員会：赤間理事より報告事項なし。

24) こころとくらしの地域支援推進委員会：原理事より以下の報告があった。

10月1日（土）こくらOT室を行った。参加者22名であった。

国際福祉機器展のさくらほりきりブースへの協力に3日間（10名）参加した。学生や一般の方も埼玉県作業療法士会やこくらについての質問を受け説明をした。

25) 第32回埼玉県作業療法学会：分須北部ブロック長より以下の報告があった。

学会テーマ「作業療法の未来をはかる～作業療法の無限の可能性～」となる。

26) 埼玉県リハビリ専門職協会：渡部理事より報告事項なし。

2. 監事より

1) 川俣監事より

特になし

2) 土屋監事

遅い時間までお疲れさまでした。体調管理に気をつけていきましょう。

3. 会長・副会長より

1) 宇田会長より

第56回日本作業療法学会で2名の会員の演題が最優秀演題賞、優秀演題賞を受賞された。6演題中2演題が埼玉県士会員の受賞である。大変誇らしいこと。会員に周知したい。

9月10日、第2回47委員会出席。第四次作業療法五カ年計画を確認してほしい。

9月15日、寄居町お城 de カフェ参加。まだ参加者は5名程度だが継続することが大事と寄居町社協職員と意義を共有した。

9月19日、アルツハイマーデーイベントにこれでいいのだバンドで参加。メンバー中会員は5名。大変喜ばれた。

9月26日、若年性認知症越谷のつどい参加。参加会員は3名。多くの会員にこの貴重な機会を体験してほしい。

10月7日、さくらほりきりHCRブースに協力参加。ここから委員10名参加。県立大、目白大の学生が多く訪ねてくれた。

<予定>

10月16日 三芳町若年性認知症講演会シンポジウムに座長として参加。倉元元部長もコメンテータとして参加する。これでいいのだバンドの演奏もあり。会員バンドメンバーは3名。

11月26日 文京学院大学作業療法学科（西方先生）の講義にこれでいいのだバンドで参加。学生にも演奏に参加してもらおうと考えている。

2) 茂木副会長

明日、ナイトセミナー開催する。

3) 伊藤副会長

埼玉県ケアラー宣言に協力しているが、11月はケアラー月間となっている。動画をホームページに公開し、各所属施設にポスターとチラシを送付する。

ZOOMの定期開催で設定しているとアプリ上日付設定が見えにくくバッティングすることがある。

理事会の予定表に必ず入力するようお願いする。

III. その他

次回理事会：2022年 11月10日（木） オンライン会議

以上をもって議案の全部を終了したので、議長は21時55分閉会を宣した。

2022年10月13日

一般社団法人埼玉県作業療法士会 理事会